

建材マンスリー

The KENZAI Monthly

10

特集 レポート 木材利用の可能性

Coffee Break
SmartHouseと天命反転住宅

FRONT RUNNER
株式会社 トレジャー・ファクトリー
社員の貪欲な向上心を
後押しする人材育成

+Biz Topics
業界ニュース
建材マンスリー資料室

特集 レポート

木材利用の可能性

環境問題への関心の高まりを背景に「森林・林業再生プラン」が公表され(農林水産省、公共建築物等木材利用促進法が施行されるなど、木材需要拡大に向けた動きが広がる)としている。今後は、構造面だけでなく、外壁、内装など建築物全体、さらには社会全体での木材利用拡大が予測される。木材関連業界においてもこの流れを商機と捉え、数々の企業が動き始めている。

そこで、今号からシリーズ「Living with Wood」と題し、木材にフォーカスした企画を展開。第1弾の今号では、木材関連事業者の新たな取り組みや、新たな木材の活用法など、具体的な事例をもとに木材利用の可能性を探る。



日本における木材利用の現状と課題

産官学が今こそ一丸となり

供給と需要のミスマッチを解決

日本の木材利用における現状と課題について、森林・林業再生プランの策定に関わった、東京大学の井上雅文准教授にお話を伺った。



東京大学アジア生物資源環境研究センター 准教授 井上雅文氏

2007年から内閣府に出向し、上席政策調査員として環境エネルギー行政を担当。専門は、環境材料設計学、木材加工学、バイオマス利用の持続可能性など。2010年12月、「木材産業のイノベーションによる木材需要の拡大」を目的とし、産業界と学会の有志が協働して発足した「木材利用システム研究会」の会長を務める。

今が木材産業を盛り上げる最大のチャンス

木材利用の推進が活発化していますが、日本の木材利用の現状をどのように捉えていますか。

今まさに変革の時を迎えていると言えるでしょう。戦後の日本では、火災や地震被害を回避するためにさまざまな政策によって木造建築は規制されてきました(下図参照)。これには、当時荒廃した山林を保護する意味合いも含まれていたと言えます。長い間、木造建築は不遇の時代を経てきましたが、2000年代に入り、建築基準法が改正され、木造の耐火建築が可能になりました。さらに、2009年12月に「森林・林業再生プラン」が公表され、2010年10月には「公共建築物等木材利用促進法」が施行されました。

供給側と需要側が歩み寄ることが大切

どのような課題がありますか。特に大きいのは「木材の供給と需要のミスマッチ」

ここでは「公共建築物については原則すべて木造化、内装等の木質化を図る」と積極的な木材利用の方向性が明言されています。歴史的にも、これまで「2つの素材」にフォーカスし、国策として打ち出されることはなく、木材業界にとって追い風であることは間違いありません。今を最大風速ととらえ、業界全体でさまざまな課題に取り組みすることが必要です。木材産業を盛り上げる、最大かつ二度とないチャンスだと考えます。しかし、さまざまな課題が山積しているため、朝夕に木材利用が活発化するとは考えにくい状態です。

供給側は「計画に基づいて植林しているのだから、景気の変動で供給量が変動するのは困る」と不満を抱えています。需要側からすると「欲しいときに欲しだけ供給してくれないから、使いたくても使えない」と考えているのです。もちろん川上の考え方と川下の考え方が違うのは当然のこと。しかし、農業や水産業は林業と同じ第1次産業ですが、そのようなギャップはあまりありません。なぜなら、どちらでも収穫できるか見通しが立てづらいため、先物取引によってリスクヘッジしているからです。一方、林業の場合は、農業や水産業ほど気候の影響が少なく、市場の需要によって価格が変動するため、そもそもリスクヘッジする仕組みがありません。

供給側と需要側のギャップを埋めるには、何が必要でしょうか。

まさに「インターフェース」が必要であり、両者をつなぐ「コーディネーター」の役割が重要です。また、すべての関係者が課題解決に向けて話し合

木材利用拡大に向けた課題と解決策のポイント



解決に向けて、例えば……



木材利用の拡大へ

参考：木材利用システム研究会資料

国産材の利用拡大においても、木材の国際流通を意識したマーケティングが必要。例えば、森林率1位のフィンランドのように木材の輸出志向が高い国からマーケティングを学ぶことが重要。

また、木材利用による地球環境貢献について浸透させる取り組みも必要です。依然として「木材利用＝環境破壊」と考える消費者は数多くいます。子どもの頃から「木材利用と地球環境」に関する正しい知識を教育することは効果的です。さらには、木材関連業界の意見を集約し、政策に反映していくことも重要です。世界的には、バイオマス資源としての木材は、マテリアル利用だけでなく、エネルギー利用が活発化しており、エネルギー利用が政策に及ぼす影響が大きくなっています。最新の政策動向を把握することも、木材産業にとって有効な規制緩和やさらなる法整備を行政に働きかけることも重要です。

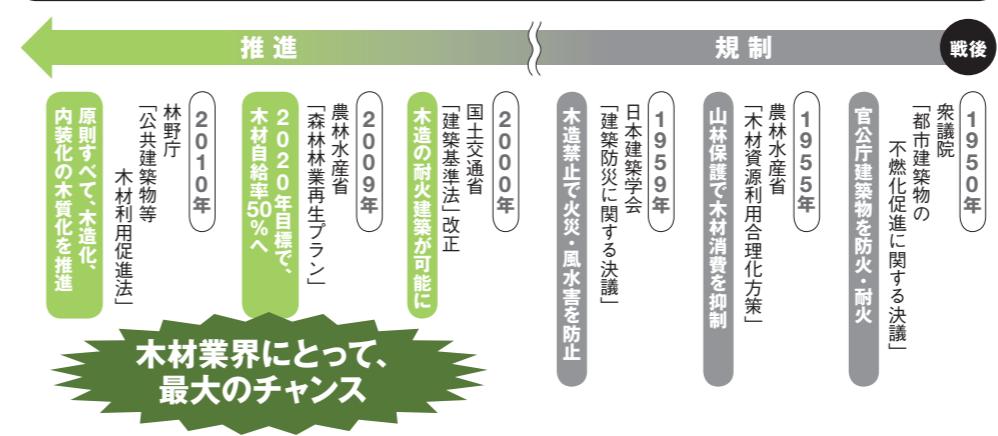
木材を「資源」として、戦略的に活用すべき

産官学が協力していく中で、持つべき共通認識は何でしょうか。

木材を「国の資源」として今一度捉え直すことです。「30年前と比較して、木材の価格が3分の1まで下がってしまった」とよく言われますが、1985年のプラザ合意以降、円高が進んだため、それは自然なこと。自国の通貨の価値が3倍になったから、海外から3分の1の価格で資源を輸入することができるので、自国の資源の価値は3分の1になってしまっています。それにもかかわらず日本人は「円高還元セール」で輸入品を安く買えるため、一般消費者の中には円高を喜んでる人もいます。日本人は自国の資源に対する意識が希薄なのだと思います。日本には木材という貴重な資源があることを、もっと意識して戦略的に活用すべきです。

戦前、日本は木材を海外に輸出し、外貨を稼ぐための戦略的資源として活用していました。しかし、輸出が衰退して海外に売らなくなったら木

日本における木造建築の規制等「政策の変遷」



材に対するマーケティング感覚までなくなりました。国内市場は当然のこと、海外市場も見据えた感覚は忘れてはならないと考えます。

冒頭でもお話ししたように、木材業界にまたとないチャンスが来たことは間違いありません。これをきっかけに行動すれば、事業にとってプラスとなります。しかし、何も行動を起こさなければ、このチャンスに気付いた木材関連以外の他の業界に機会を奪われてしまうことも考えられます。

世界的な航空機メーカーのボーイング社も、元々は木材商でした。携帯電話端末世界シェアNO.1のノキア社も、創業時は木材パルプ加工会社だったと聞いています。木材業界も今後さまざまな発展方法があるはず。

今こそ、既存システムの革新を目指し、業界、学術界、行政が一丸となり、木材利用の可能性を広げていくべきだと思います。

住友林業の取り組み 「木化推進室」を新設 木造耐火3階建て老人ホーム 11月竣工予定

2011年4月、住友林業は「木化推進室」を社長直轄組織として新設した。「公共建築物等木材利用促進法」の施行等を背景に、木材の用途拡大を図る。その一例に、2011年11月竣工予定、住友林業の「大田区矢口木造老人ホーム」プロジェクトがある。本プロジェクトのポイントは、東京都区内初のツーバイフォー工法による木造耐火構造3階建て有料老人ホームであること。不燃木材により外装を木質化するほか、被覆系耐火構造でありながら、内装にも積極的に木製部材(国産材)を活用。避難にも利用可能なバルコニーの設置等、高齢者施設として防災計画にも配慮されている。



山間部・都市部双方に メリットが生まれる

木材の「地産地消」ならぬ「地産外消」を提唱しているのは、高度な木材加工技術を持つ越井木材工業だ。「地産外消」とは、山間部で生産された地域産材に付加価値を与え、都市部の新たな木材利用につなげること。「これを推進していくことで、日本における山間部の問題が緩和する」と越井社長は語る。「現状は『山にお金が残りにくい仕組み』になっています。例えば、構造材・下地材として使われる普通等材の丸太単価が1万円/㎡だとします。国産材が安い輸入材と戦うには、簡単に丸太単価を上げることはできません。そこで、当社では使えるのに捨てていた部分も伐り出し、化粧一等材として外装材に利用する方法を考案。構造材・下地材の他に、外装材用として化粧一等材が伐り出せると考えれば、丸太単価が5000円上がって1万5000円/㎡になったとしても、当社は購入するのとができます。その結果、山間部の5000円の利益は再植林や育林に還元され、ひいては山間部の雇用促進にもつながるのです」

木製外装材の利用は、都市部にもメリットがある。木材は熱を蓄積しにくいいため、コンクリートの外壁材よりもヒートアイランド現象を抑制可能だ。「地球温暖化防止にも役立ちます。さらには、より良い都市景観の形成にも貢献できるのです」

他の素材と勝負すれば コストでも戦える

木材を外装材として使うには、耐久性の問題をクリアしなければならぬ。そこで、越井木材工業は特別な熱処理技術を使用した木製外装材「コシイ・スーパーサーモ」を開発した。「220度以上の熱処理を行うことで、腐朽性を向上させました。樹種を選ばない技術のため、主力国産材であるスギ、ヒノキ等にも使えます」

また、公共建築物の建設において木製外装材を提案すると、必ず浮上するのがコストの問題だ。「国産材を木製外装材に使う場合、勝負するのは木以外の素材になります。例えば、外壁をルーバーにする、アルミと比較することがありますが、十分戦える価格です」

国産材普及のポイントには、「産官学連携のネットワーク」だと越井社長は語る。「普及は一企業でできることではありません。当社は大阪の企業大学、大阪府とともに『国産材を活用したヒートアイランド対策協議会』を発足。この活動は、林野庁の地域材利用加速化緊急対策支援事業に採択されており、助成金でヒートアイランド抑制効果の実証試験やデザインの検討などを行っています。今後も、さまざまな方面と協力しながら普及に取り組みます」

最新技術を施した 木製外装材を提案

- 大阪府大阪市住之江区 平林北1-2-158
- TEL 06-6685-2061
- http://www.koshii.co.jp
- 防蟻・不燃・防火などの木材加工事業

越井木材工業株式会社 代表取締役社長 ● 越井潤児



国産材を利用した道路の木製遮音壁 (設置場所: 岐阜県)



「コシイ・スーパーサーモ」が採用された東京都立産業技術研修センター (写真上・東京都江東区)、東京大学弥生講堂 (写真下・東京都文京区)

木造・木質化への挑戦

木材関連事業者は、木造・木質化の流れをどのようにとらえ、どのような行動を起こしているのか。木造・木質化を積極的に取り組んでいる2社に話を伺った。

クリ材の自然な風合いは消費者に支持されている



「第一回にっぽんの木100年家具コンペティション」の応募ポスター



北海道産シラカバ材の成形合板を使った椅子の試作品

国産材市場を 自ら生み出し、 自ら切り開く

株式会社ワイズ・ワイズ 代表取締役社長 ● 佐藤 岳利長

- 東京都渋谷区神宮前5-12-7
- TEL 03-5467-7001
- http://www.wisewise.com
- 家具の企画開発・製造・販売、住空間のコンサルティング、商空間のプロデュース



目指すは 国産材利用50%

荒廃している日本の森を活性化させるために、木材家具ブランド「ワイズ・ワイズ」は自社プロジェクトを立ち上げている。きっかけとなったのは2008年のリーマン・ショックだった。佐藤社長は

当時の状況をこう語る。「不況で安価な家具が求められるようになり、東南アジアやロシアで大量に違法伐採された木材が家具に利用される状況に疑問を持ちました。『豊かな自然を実現できずに、豊かに暮らせるはずがない』。そこで始めたのが『グリーンプロジェクト』です」

この取り組みは、生産地や生産者が明らかな国産材や、FSCなどの森林認証を受けた木材といった「フェアウッド」を積極的に利用するというもの。2015年には国産材50%の利用を目指している。

助成金を活用し 国産材利用を加速

その目標達成のための取り組みとしては、岩手県産のクリ無垢材の利用が挙げられる。「同額にして輸入材とどちらか選べるようにしたところ、7割のお客様が国産材を選択しています。違法伐採や生物多様性の話をし

ながら、当社が国産材を使う理由を説明すると、共感してくださる方が多いです。国産材を選択してくだされば、利用量も増え、ビジネスが成り立ちます」

また、北海道産シラカバ材を活用した家具の開発は、林野庁の2011年度「地域材製品利用モデル開発推進事業」として採択された。「国産のシラカバ材は輸入材に押されて利用が激減し、森が荒廃してしまいました。そこで、当社は成形合板の技術を利用してシラカバ材の家具を開発。助成金を使って資材メーカー、家具工場の協力のもと、工業試験場のテストを繰り返して、商品化を進めています。現在、2012年夏の発売を目指し開発中です」

対外的には、国産材利用を考えるきっかけ作りとして「にっぽんの木100年家具コンペティション」を開催。消費者や企業に、100年先の暮らしを考えた国産材の家具を提案してもらい、優秀な作品は商品化する。2010年11月からエントリーを受け付け、2回の審査を経て、ついに2011年11月に受賞者発表が予定されている。「1回目にもかかわらず、245名の応募がありました。学生の参加も多く、何のために国産材を使うのか」を知ってもらおうことで、未来の国産材利用につなげていきたいと考えています」

佐藤社長は強くこう語る。「国産材市場が生まれるのを待っていても、何も変わりません。各社が利用を進めて、状況を変えていく必要があります。自ら市場を作り上げ、主力木材として国産材を利用しても、事業が成り立つことを証明していきたい。そして、業界の一つの成功事例になりたいですね」



インテグラル 開発センター

構造: 木造3階建軸組構法 軒高: 8.9m
 床面積: 延床面積 377.42㎡ (114.17坪)
 性能: 耐震等級2、省エネ等級4
 (Q値: 1.91W/㎡K、
 μ値: 0.050、C値: 1.69cm²/㎡)
 工事費用: 約59.8万円/坪
 (設計料、外構、太陽光発電は除く)
 工期: 6ヵ月 (2011年3月~8月)

トイレ: 地産地消の一環として、壁に茨城産のスギを一部使用

階段: NZバインを使用。ストリップ階段を採用したことで連窓からの光が室内へ

連窓: ビル用カーテンウォールを使用せず、住宅用サッシを組み合わせてコストを軽減

外装: 外壁の70%以上にレッドシダーを使用

株式会社インテグラル

- 茨城県つくば市東2-31-18
- TEL 029-850-3331
- http://www.integral.co.jp/
- システムインテグレーション事業、システム開発、オープンソースソフトウェア開発、建築CADシステム開発など



代表取締役
柳澤 泰男氏



実例で見る木造3階建
一般木造住宅の材と技術で中規模木造を実現

木造3階建で内外装に積極的に木材を利用したインテグラルの開発センターが8月に竣工。話題の物件を訪ねた。



3階 リフレッシュルーム: 許容応力度計算面材詳細計算法にて勾配天井部分の構造計算をクリア (垂木: 60×120ベイマツ、野地板: 12mm合板、釘: CN65@100)



2階 会議室・セミナールーム: 床に信州産カラマツを使用。人員増加などによる間取りの変更に柔軟に対応できるよう、耐力壁をなるべく外周部に配置



1階 執務室: 柱にホワイトウッド、梁にレッドウッド (一部ベイマツ)、床にメープルを使用

建物の特徴は?

木造軸組構法住宅で用いられている部材や施工技術を利用しつつ、許容応力度計算や面材詳細計算法などによる構造設計技術の工夫を施すことで、オフィスとして利用できる大空間を確保した点です。木材は一般に流通している中断面集成材を、金物も木造住宅向けを使用しています。また、弊社の構造計算ソフト「ホームズ君構造EX」の機能を活用し、さまざまな課題をクリアしました。

コストについては?

目標の坪60万円を切ることができました。例えば連窓は、ビル用のカーテンウォールを使えば簡単ですが、コストがかさむため、住宅用サッシを組み合わせるなどの工夫を凝らし、費用を抑えました。

苦勞した点は?

大空間と耐震性の両立です。木造3階建は、建築基準法が定める構造計算をクリアしなければなりません。単純に筋交いを多用すると、水平面と鉛直面のバランスが崩れるため、あえて筋交いを片方だけにするといった対応が求められました。

勾配天井の耐力確保も課題でした。フラットであれば床板や野地板を張ることで天井をハコとして固められるのに対し、勾配天井はそうはいかず、標準的な計算法では、建築基準法の水準をクリアできません。そこで採用したのが、より詳細に許容せん断耐力を計算する面材詳細計算法です。この方法を用い、釘や垂木のピッチや垂木の断面を決定したことで、耐力を満たしながら、意匠的にも納得できる勾配天井に仕上がりました。

木造3階建が普及するには?

3階建において、階高に余裕を持たせると、軒高9mを超えてしまい、建築基準法の大規模建築物となるので、防火の規制が厳しくなります。このため、軒高の引き上げを求める声が上がっていますが、まずは私たち事業者が構造計算や面材詳細計算法の知識を高め、提案できるかが重要です。弊社としては今後もノウハウを培い、中規模木造に関心をお持ちの工務店さんに情報を提供していく考えです。その結果として木材利用の促進に貢献したいと思っています。

Coffee Break

ここでちょっと一息

vol. 25

藤井繁子
Shigeko Fujii



『月刊HOUSING』元編集長、現在リクルート住宅総研主任研究員や神奈川県総合計画審議会委員も務める住生活ジャーナリスト。ブログ「Vivien研究員の住宅業界REPORT」更新中!

SmartHouseと天命反転住宅

実験から商品化が進むスマートハウス

中国など海外でのプロジェクトが先行していたスマートシティ構想。日本でも震災によって俄然注目が高まり、横浜スマートシティプロジェクト、柏の葉キャンパスシティ、六ヶ所村スマートグリッド、Fujisawaサスティナブル・スマートタウンなど各省庁の実証実験や企業の開発プロジェクトが加速しています。そのスマートシティを構成する端末であるスマートハウスも具体化し、HEMS制御による家庭用リチウムイオン蓄電池搭載の「xevo」（ダイワハウス）が発売されるなど省エネからエネルギー自給自足型へと進化しています。昨年11月、横浜みなとみらい21地区に「スマート・ネットワークプロジェクト」（積水ハウス・NTTdocomo他10社）として建てられた実証実験住宅「観環居」は、CO₂排出量をほぼ100%削減、家歴システムを活用したメンテナンスの実験などを実施。現在は太陽光発電と充放電対応EVによる停電時の電力供給など防災への取り組みを広げています。また東京大学と共同でLIXILが建てた実証実験住宅では開口部を中心に風・光・熱を制御するなど省エネ効果の測定を実施中。



(左) 外観内観には14色が使われ異彩を放つ(賃貸住宅・3階建・竹中工務店施工) 2または3LDK+バスルームの9住戸。住戸内の床/天井に水平は無く、LDK床はデコボコのコンクリート(青竹踏み感覚!) (右) 球体の部屋では声が上下左右から反響し理想空間のよう。ショートステイも受付詳しくはHPにて <http://www.architectural-body.com/mitaka/>

住宅です。名古屋「宿命反転都市」においても「利便性や安全性のみが追求された街が、そこに住む人々にどのような影響を及ぼしたのか…(中略)…体の外側から人間の宿命(=死に向かう宿命)を変えていくために、風景や環境、街、家を精密な遺伝子のように構成し、形作る街。」と、日常最も重要な接点となる住宅の有り方を考えさせられます。

人間と住宅の可能性に挑戦した荒川修作

Panasonicの「エコナビ」は節電を自分で考えずともセンサーが最適にコントロールしてくれるという家電商品ですが、スマートハウスの取材を続けていると私の中では「考えなくてよい」と、人間の能力を否定される不安な感情が生まれてきました。そして思い出したのは芸術家であり建築も手掛けた荒川修作の三鷹「天命反転住宅」。天命=死にゆくこと、に抗うのがコンセプト。「In Memory of Helen Keller(ヘレン・ケラーに捧ぐ)」とあるように人間の能力、五感を呼び覚まし体が建築に対応する能力、建築が人体に与える力を確信し挑戦した

デジタル空間で求められる木

一方スマートハウスが進行してゆく中で、注目が高まるのは「木」の果たす効用です。「観環居」では大画面テレビも木の建具に収まり、表し天井や太鼓張りの障子、外に続く竹材の広縁テラスと目にも優しい和の空間を実現。三井ホーム「green's」の洋館でも放熱性の高い木製バルコニーや木製内窓シャッター/ルーバードアを採用し木の多様な性能をアピールした設えに。これこそが、センサー制御や電波にまみれるデジタル空間で求められる方向で、情緒ある人間性豊かで健康的な空間を実現できる木の可能性には大いに期待したいと思います。



(左中)「観環居」(シャードウッド構法) ITはあくまで裏機能、表は和の建具や檜風呂で「懐かしい未来」を表現。TVや携帯のタッチパネルで照明・家電をコントロールするので壁スイッチやリモコンが無い。予約制案内だが4,000人を超える来場者。EV(日産リーフ)による住宅への電力供給システム。24kWh電池で停電時も2日分の電力供給が可能。(右) LIXIL・東大の「COMMAハウス」外付けの大型可動ルーバーで日射・通風を調整。内部建具にも通風ルーバーや採風サッシ窓などで省エネ効果測定し検証中。



足立西新井店

- 本社：東京都足立区梅島3-32-6
- 事業内容：総合リサイクルショップ「トレジャーファクトリー」、ユーズドセレクトショップ「トレジャーファクトリースタイル」を展開。リユース品のインターネット販売・買取、中古・リサイクルショップ検索コミュニティサイト「うるはび」の運営、ブランドバック&ファッションレンタル「Cariru」の運営。
- 従業員数：283名
- 売上高：63億4,700万円（2011年2月期）
- HP：http://www.treasurefactory.co.jp/

■株式会社トレジャー・ファクトリー

社員の貪欲な向上心を後押しする人材育成

お客様からの信頼感がリサイクルショップを成功させる

棚の奥に思いもかけない掘り出し物が見つかるリサイクルショップ。個人商店が多いリサイクル業界で、首都圏を中心に55店舗を展開するのが「トレジャーファクトリー」だ。近い将来の海外進出も視野に入れた成長を続けている。整然とした店内には、リサイク

社員に裁量を与え自己実現してもらおう

そうしたリサイクルショップ

「もう一つ大事なことは、スタッフがお客様から信頼されていること。リサイクル品の価格が成立するかどうかは、店に対する信頼感が不可欠だからです」

野坂社長は、学生時代、まだ利用可能な品物が廃棄されていることにビジネスチャンスを見出し、起業を決意。48カ所のリサイクルショップを回り、成功する3つのポイントを導き出した。「価格が明記されているか」「商品がきれいにしているか」「接客・保証などのサービスが行き届いているか」。実際に当たり前のことだが、7割のリサイクルショップができていなかったという。

「もう一つ大事なことは、スタッフがお客様から信頼されていること。リサイクル品の価格が成立するかどうかは、店に対する信頼感が不可欠だからです」

の実情からも「企業は人でできている」と語る野坂社長。急成長を後押ししたのも、「企業の成長は人の成長があつてこそ」という信念があつたからだ。

野坂社長の人材育成のこだわりは、社員が自分らしさを最大限に発揮し、自己実現すること。スタッフに裁量を与え、店づくりに関して、自分のアイデアや考えを形にできるようにした。そのことが、仕事のモチベーションにつながる。と確信している。

しかし、業務が拡大し、社員数が増え始めると、最初の壁にぶつかった。「多店舗化にはルールが必要。その一方で、個々の自由な発想も大事にしたい。その課題を乗り越えるために、いったん、仕組みづくりに重点をシフトし、マニュアルのブラッシュアップ、数値データの見える化やエリアマネジャー制度を導入し、組織としての軸を作りました。今は、守るべきルールの上に個性を生かせる組織を作っている段階です」

目標を見える化する人事制度や社員手帳

社員数が280名以上になった今も、創業時から続けている習慣がある。半年ごとの社員全員との面談だ。「他の役員と手分けして、私は約70人と面談しています。時間はかかりますが、組織の課題や長所が見えてくる貴重な機会です。組織の仕組みはまだ改善する余地があります。社員の意見を聞きながら、さらに良いものを目指していきたいですね」と野坂社長は言う。

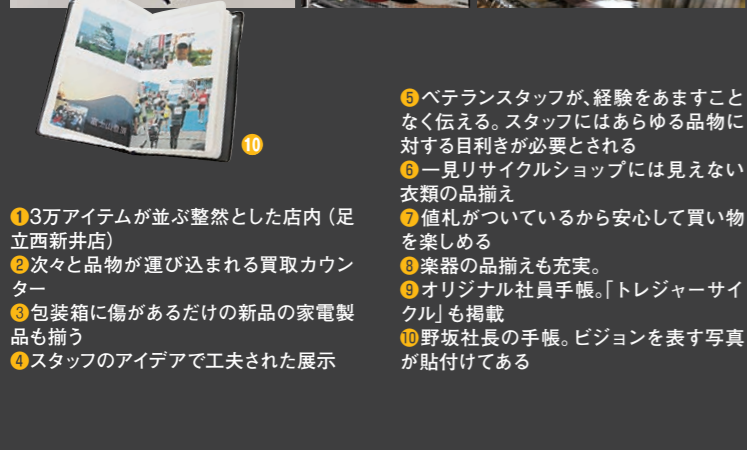
面談の際に、目標設定や人事評価の指針になっているのが「トレジャーサイクル」という人材育成システム。仕事の一連の流れを「気付き力↓組立て力↓すぐ

やる力↓共に働く力↓振り返り力↓形にする力↓気付き力」に分解し、社員は、それぞれの力を意識して、自らの課題を明確にしている。「当社はリサイクルで循環型社会を目指していますが、人材育成も循環型で考えています。この仕組みのおかげで、やるべきことを明確にすることができ、自己成長を実現してきました。その手応えが、常に一段上を目指そうという風土として根付いています」

さらに、社員の挑戦を後押しする制度が「トレジャーギネス」。売上や買い取り件数などで、過去最高記録を出した場合に申請し、表彰される。前年比ではなく、記録を塗り替えるという発想が、右肩上がりの成長を加速してきた。

また、社員が自分のビジョンを明確にするために利用しているのが「オリジナル社員手帳」だ。個人、家庭、会社でそれぞれ実現したいことを書き込むページがあり、写真などを貼って目標イメージを「見える化」する。毎年「手帳コンテスト」が開催され、ページ作りに気合いが入っているそうだ。

会社が急成長しても、こうした人材育成が土台となり、安定した店舗運営が実現している。「当社は人を育てることを諦めません。人それぞれの成長のスピードにあわせて育てようという貪欲さがあります」仕組みだけでは足りない人材への飽くなきこだわりが、この会社の強さを生み出しているのだらう。



- 1 3万アイテムが並び整然とした店内（足立西新井店）
- 2 次々と品物が運び込まれる買取カウンター
- 3 包装箱に傷があるだけの新品の家電製品も揃う
- 4 スタッフのアイデアで工夫された展示
- 5 ベテランスタッフが、経験をあますことなく伝える。スタッフにはあらゆる品物に対する目利きが必要とされる
- 6 一見リサイクルショップには見えない衣類の品揃え
- 7 値札がついているから安心して買い物を楽しめる
- 8 楽器の品揃えも充実。
- 9 オリジナル社員手帳。「トレジャーサイクル」も掲載
- 10 野坂社長の手帳。ビジョンを表す写真が貼付けてある



代表取締役社長 野坂 英吾さん



業界ニュース

2011年度第3次補正予算で要請 住宅エコポイント 復活へ

10月21日、住宅エコポイント制度の再開、フラット35Sの金利引下げ幅拡大等を盛り込んだ2011年度第3次補正予算案が閣議決定された。

旧制度では、エコ住宅を新築した場合は30万ポイントが付与されていたが、新制度では半分の15万ポイントとなった。ただし、東日本大震災被災地に関しては従来どおり30万ポイントの付与としている。新築では太陽熱利用システムを設置する場合は2万ポイントを加算、リフォームでは同時に耐震改修を実施する場合は15万ポイントを加算するほか、バリアフリー工事やリフォーム瑕疵保険の加入等を行う場合にもポイントを加算。なおポイント利用の2分の1以上を被災地支援に限定している。

住宅エコポイント制度は2010年3月に開始されたが、予算を消化したため、当初予定より半年前倒しの今年7月で終了していた。

また、フラット35Sの金利引下げ幅拡大について、1年程度の措置として、省エネ住宅に対する当初5年間の金利引下げ幅を被災地は0.3%

住宅エコポイントの発行状況

※2011年7月末で工事の着工・着手期限は終了

エコポイントの発行	累計 (2011年9月末)			
	件数		ポイント数	
新築	856,277	100.00%	174,772,990,000	100.00%
太陽熱利用システムの設置	25	0.00%	500,000	0.00%
リフォーム	513,918	60.02%	31,123,790,000	17.81%
窓の断熱改修	507,502	59.27%	23,752,632,000	13.59%
外壁・屋根・天井または床の断熱改修	26,088	3.05%	2,748,350,000	1.57%
バリアフリー改修	129,244	15.09%	3,563,980,000	2.04%
太陽熱利用システムの設置	36	0.00%	720,000	0.00%
節水型トイレの設置	33,564	3.92%	673,360,000	0.39%
高断熱浴槽の設置	30,278	3.54%	605,620,000	0.35%
補正ポイント (ポイント上限超過分) (※)	—	—	-220,872,000	-0.13%

↓1.0%、その他地域は0.3%↓0.7に拡大する。

政府は復興財源確保法案と共に28日をめどに国会に提出、早期成立を目指す。

※各種リフォームを行い、申請者が発行ポイント数の上限(戸当たり30万ポイント)を超えて申請した場合に、合計ポイントから上限超過分を差し引いた数。
出典：住宅エコポイント事務局ホームページ (<http://jutaku.eco-points.jp>)

業界ニュース

2012年度予算概算要求 ゼロ・エネルギー住宅 支援政策強化へ

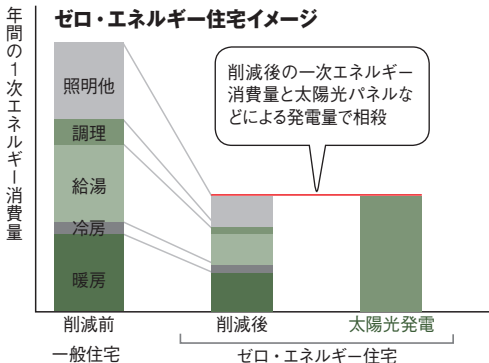
9月29日、経済産業省は2012年度予算の概算要求を発表した。年間の一次エネルギー消費量が正味でゼロになる「ゼロ・エネルギー住宅(ゼロ)」の建設促進のための補助金を創設する。

また、再生可能エネルギーの抜本的拡大として次世代太陽光発電技術の研究開発のほか、再生可能エネルギーを有効活用するための蓄電池に関する予算も要求。なお、HEMS、住宅用太陽光発電設備、蓄電池などに対する「節電エコ補助金」の創設を今年度3次補正予算で要求している。

国土交通省が9月30日に発表した予算概算要求においても、住宅・建築物の省CO₂対策の推進としてゼロ・エネルギー住宅が重点的に支援されている(左下)。また、魅力ある中古住宅流通・リフォーム市場の形成として、新たな保険商品や融資の開発・普及、安価で良質なリフォーム工事の実現のための建材・施工方法の開発などへの支援を行う。

その他、住宅・建築物の耐震化を推進し、緊急輸送道路や避難路の沿道にある住宅や建築物、避難所等の耐震改修を促進する。

ゼロ・エネルギー住宅イメージ



住宅・建築物の省CO₂対策の推進

①ゼロ・エネルギー住宅等の推進

ゼロ・エネルギー住宅等のリーディングプロジェクトや、省エネ性能の向上に資する建築物リフォームなどに対する支援を行う。

②省エネ基準適合義務化に向けた住宅市場の整備

断熱施工技術の向上など地場産業の省エネ住宅の生産体制の整備・強化に対する支援を行う。

③地域における木造住宅のブランド化

地域材を活用し、気候・風土に合った「地域型住宅」のブランド化促進のため、地域ごとの共通ルールに基づく木造の長期優良住宅の整備に対する支援を行う。

編集後記

from editor



街中のショップやオフィス等の内外装に「木」がデザインされているケースが本当に増えたと感じる。先日も某駅ビル地下を歩いていると、新規テナントが何やらwoodyに内装工事の様子。きっとイイ感じのカフェレストランに違いないと、オープンを楽しみにしていると、そこに完成したのは証券会社の店舗(!)。そういえば夜の某報道TV番組のセットも今年は木をふんだんに使用した印象的なもの。今後木が、どこに、どんなデザインで使われていくか、想像するだけでも楽しい。

編集室より
広告募集中!

広告掲載・製品紹介のご相談、誌面に対するご意見、ご感想は
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。



kenzai-monthly@sfc.co.jp

住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部 (片岡・齋藤)

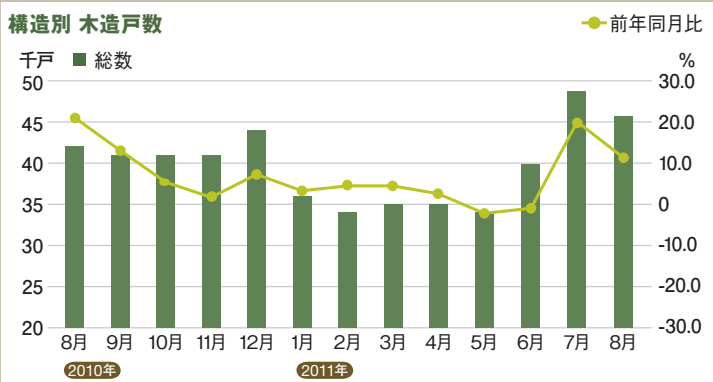
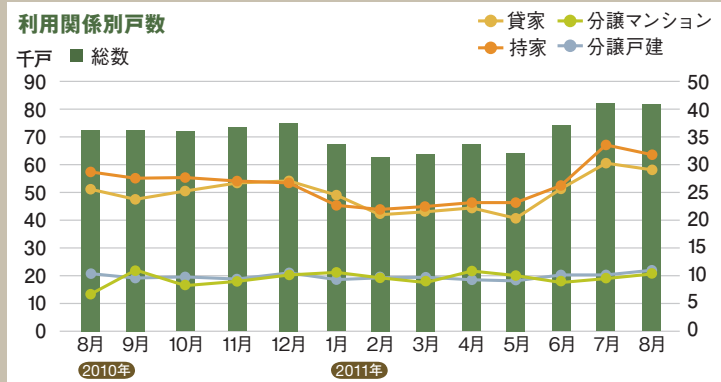
表紙の写真 「大阪木材会館」(大阪市西区)

外装材には、P4でも登場した越井木材工業(株)の熱処理木材を使用(樹種:スギ・ヒノキ、利用量:22m)。今夏、産官学による「国産材を活用したヒートアイランド対策協議会」の実証実験で、この建物の表面温度を計測したところ、コンクリート壁のビルより低くなる結果が得られるなど、都市環境改善へ向けた取り組みとして注目されている。

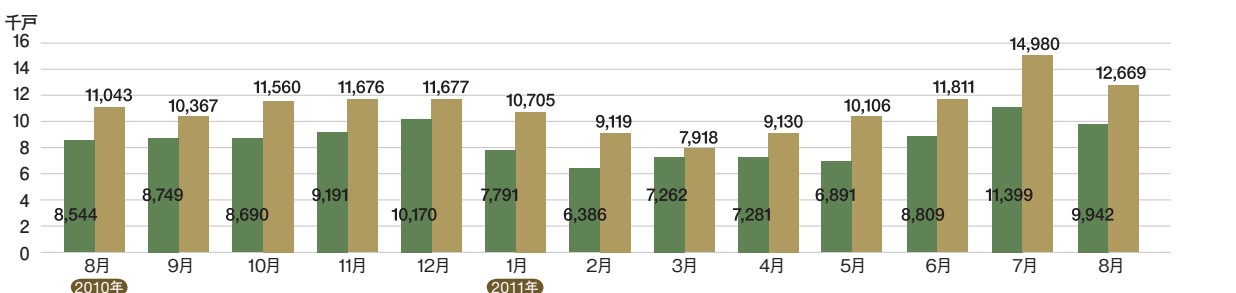


【2011年8月の新設住宅着工】 △は減

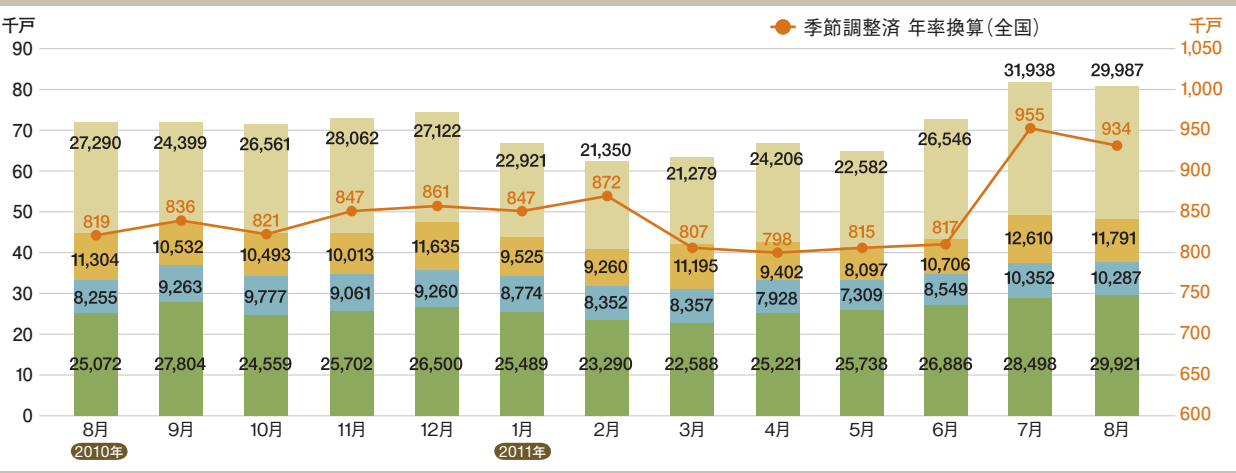
		8月				7月	6月	5月	
		対前月比 (戸) (%)		対前年同月比 (戸) (%)					
新設住宅計		81,986	1,412	△1.7	10,065	14.0	83,398	72,687	63,726
建築主別	公共	1,334	△320	△19.3	103	8.4	1,654	1,768	935
	民間	80,652	△1,092	△1.3	9,962	14.1	81,744	70,919	62,791
利用関係別	持家	31,039	△1,343	△4.1	2,003	6.9	32,382	26,931	23,528
	貸家	28,372	△2,092	△6.9	2,531	9.8	30,464	26,121	20,695
	給与住宅	812	504	163.6	356	78.1	308	545	681
	分譲住宅	21,763	1,519	7.5	5,175	31.2	20,244	19,090	18,822
	うちマンション	10,694	909	9.3	4,077	61.6	9,785	8,812	10,006
	うち戸建	10,990	615	5.9	1,071	10.8	10,375	10,203	8,796
資金別	民間資金	69,431	△1,862	△2.6	8,115	13.2	71,293	60,558	54,675
	公的資金	12,555	450	3.7	1,950	18.4	12,105	12,129	9,051
	公営住宅	914	△563	△38.1	△205	△18.3	1,477	1,577	829
	住宅金融機構融資住宅	6,175	△385	△5.9	424	7.4	6,560	5,958	5,049
	都市再生機構建設住宅 その他住宅	0 5,466	△6 1,404	△100.0 34.6	0 1,731	- 46.3	6 4,062	51 4,543	55 3,118
構造別	木造	46,901	△1,259	△2.6	4,828	11.5	48,160	40,249	34,126
	非木造	35,085	△153	△0.4	5,237	17.5	35,238	32,438	29,600
	鉄骨鉄筋コンクリート造	367	203	123.8	△15	△3.9	164	1,049	405
	鉄筋コンクリート造	20,920	1,698	8.8	4,491	27.3	19,222	18,181	18,304
	鉄骨造	13,691	△2,068	△13.1	797	6.2	15,759	13,072	10,784
	コンクリートブロック造 その他	51 56	2 12	4.1 27.3	△36 0	△41.4 0.0	49 44	44 92	73 34



**2×4、プレハブ
新設住宅戸数**



**都市圏別
新設住宅着工数**



ウッドピール

天然木極薄突板連続シート

Wood Peel

一本一本の樹が持つ風合いは 紙のような薄さになっても美しい



CONCEPT

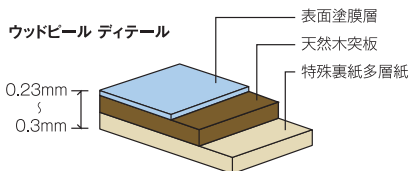
●天然素材 ウッドピールは天然木突板

独自の新技术(特許取得済)により天然木を世界最薄水準に加工し、高品質な突板連続シートに仕上げました。本物の木だからこそ、美しい木目と質感を楽しめます。



●eco 人と自然にやさしい

人気の定番樹種のほか、地産地消の観点から地場の優良木材「西川材(スギ・ヒノキ)」をラインナップに加えました。また、シックハウス症候群などの原因となるホルムアルデヒド発散建築材料の国土交通省F☆☆☆☆性能適合品です。



●信頼 不燃・準不燃性能適合

国土交通省より不燃・準不燃認定をうけているため、内装制限のある建築物の規制エリアの壁や天井に安心してご使用いただけます。

■ 国土交通省防災認定番号

不燃 NM-2203	下地は金属板を除く法定不燃材料
不燃 NM-2644 (塗装品)	下地は金属板に限る法定不燃材料
不燃 NM-2645 (無塗装品)	下地は金属板に限る法定不燃材料
不燃 NM-2646 (塗装品)	下地はアルミニウム合金板に限る法定不燃材料
不燃 NM-2647 (無塗装品)	下地はアルミニウム合金板に限る法定不燃材料
準不燃 QM-0606	下地は金属板を除く法定準不燃材料

●施工性 折り曲げ自在スムーズ施工

厚み0.23~0.3mmと極薄なため、造形性に優れています。木目方向であれば曲面、凹凸面でも自在に貼ることが可能です。また、一般的なクロス貼り方法(デンプン糊と糊付け機使用)で施工できるため、専門技術者の施工費と比べてコストダウンが望めます。



医療施設(東京都港区)

お問い合わせ先



株式会社 **サカモト**

●ウッドピール現物見本付きリーフレットをご用意しております

<http://www.eco-sakamoto.co.jp>

〒357-0031 埼玉県飯能市山手町25番21号 TEL 042(972)2022 FAX 042(793)6922

サテライトショールーム monova
リビングデザインセンターOZONE4F

Japan creation space
monova

